

は じ め に

平成 28 年簡易生命表（厚生労働省）では、日本の平均寿命は男性が 80.98 年、女性が 87.14 年と、ともに過去最高となっています。長寿化に対して、文京区も引き続き区内の医療機関をはじめとする関係各所との連携強化を図り、在宅生活を支えてまいります。

一方、文京区の合計特殊出生率は、平成 28 年は 1.25 となり、昨年より 0.08 ポイント上昇し、国より低いものの都を上回りました。文京区では少子化対策の一環として、子どもを望むすべての区民が安心して子どもを産み育てられるよう、平成 26 年度より「ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト」を展開しています。大学祭へ出向いて啓発冊子を配布するなどの継続事業の他、28 年度新規事業として、健康及び家事・育児参画に関する啓発用冊子「PAPA & MAMA START BOOK」を作成し、関係窓口での配布を行っています。今後も結婚・妊娠・出産・育児に関する正しい情報提供を行っていきます。また、平成 27 年度にスタートした「文京区版ネウボラ事業」では、母子保健コーディネーターを配置して、全ての妊産婦の継続的な状況把握に努めるとともに、宿泊型ショートステイ事業を開始するなど、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援を行っています。

本区では、平成 25 年 3 月に「保健医療計画」と「健康ぶんきょう 21」の 2 つの計画を統合した「保健医療計画（平成 25 年度～平成 29 年度）」を策定しました。この計画は、生活習慣病予防や健康増進の取組み、地域保健医療の推進、感染症予防や食品の安全性等に関わる健康安全の確保に関する分野を含んだ保健衛生施策全般にわたる計画となっています。本計画が本年度で終了するに当たり、新たな「保健医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」を策定中です。急速に進む少子高齢化への対応、地震等の災害時の医療救護体制の強化や近年、海外での流行が見られる新興感染症を含む感染症対策の強化など、保健衛生行政が抱える課題は多様化しています。これらの課題への的確な対応を含めて、保健医療施策の総合的かつ効果的な推進を図ってまいります。

この「ぶんきょうの保健衛生」（平成 29 年版事業概要）は、平成 28 年度の文京区保健衛生部・文京保健所のすべての活動をまとめたものです。27 年度より過去 5 年分のデータを掲載し、推移等がよりわかり易くなっています。本書が、保健医療関係者をはじめ多くの方々に活用され、区民一人ひとりが、より健康な人生を送るために役立てていただくことを期待しております。

平成 29 年 9 月

文京区保健衛生部長・保健所長
石原 浩